

「国際理解促進セミナー～イスラームを知る夕べ」の開催について



北海道には、タイやマレーシアなど ASEAN からの観光客が年々増えており、その中にはマレーシアやインドネシアなどのムスリム（イスラーム教徒）の方も多く含まれています。道民にとって以前より身近になったムスリムの食文化や習慣などへの理解を深め、地域でのムスリムとの共生や観光で訪れるムスリムへのおもてなしのあり方について考えます。

1. テーマ「ラマダーンを通して知るムスリムの生活」

セミナー開催時期は、ラマダーン（2015年は6月18日から7月16日）の断食齋戒（さいかい）の期間中であり、断食齋戒の意味や由来、またムスリムの食生活に大きな意味を持つハラールの基礎を知ることを通して、ムスリムの生活文化について理解を深める。

2. 日時 平成27年7月10日（金）17時40分～19時00分

3. 場所 JICA 北海道国際センター1F ブリーフィング室
札幌市白石区本通16丁目南4-25 (TEL011-866-8333)

4. 主催 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター

5. 後援 JICA 北海道、札幌国際プラザ（申請予定）

6. 協力 北海道コンシェルジュ委員会

7. 内容

- (1) 開会挨拶 (5分)
- (2) 講演 「“ラマダーン”を通して知るイスラーム文化」 (25分)
宗教法人日本ムスリム協会北海道連絡事務所代表 須見啓司 氏
- (3) 事例報告
 - ① 「JICA 北海道におけるムスリム研修員の受入れ」 (15分)
JICA 北海道
 - ② 「ムスリムの北海道での暮らし」 (15分)
道内在住ムスリム
 - ③ 質疑応答 (10分)

8. 対象 一般道民 (定員 80名 申込先着順)

9. 参加料 無料

10. 申込期限 平成27年7月3日（金）

11. 備考

セミナー終了後、北海道コンシェルジュ委員会の主催により「イフタル体験食事会」(※)を開催し、セミナー参加者のうち希望者を対象に、「イフタル」というムスリムの食文化や習慣を実際に体験し、セミナーの講演内容等への理解を深めてもらう機会を設ける。

※ イフタル＝イスラム暦のラマダーン月（ラマダーン＝2015年は6月17日から7月16日予定）中に行われる日没後の食事。

「イフタール体験食事会」の開催について



イフタールとはラマダーン月の断食齋戒明けの食事を意味します。日の出前から日没まで断食齋戒するムスリムにとって、神への感謝と喜びを確認できるひと時であるとされています。

イスラームでは信者である、ないを問わず、集団での食事と分かち合いが重んじられています。そのため、ムスリムは世界各地でラマダーン月中、集団での食事と共に近隣の方達と食事を分かち合うために、毎晩のように食事会が開かれます。そこで今回は異文化の理解や多文化共生にもつなげるために、イフタール体験食事会を開催し、文化交流の場としたいと思いません。

- 1 主催 北海道コンシェルジュ委員会
- 2 後援 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（ハイエック）
- 3 日時 平成 27 年 7 月 10 日（金） 19 時 05 分～20 時 30 分
（ハイエック主催「国際理解促進セミナー“イスラームを知るタベ”」終了後）
- 4 場所 JICA 北海道国際センター1 F オリエンテーション室
札幌市白石区本通 16 丁目南 4-25 (TEL011-866-8333)
- 5 対象 ハイエック主催「国際理解促進セミナー“イスラームを知るタベ”」
参加者（パーティーへの参加は任意）、その他参加希望者
- 6 参加料 無料
- 7 参加申込
 - (1) 申込先 ～ハイエック調査研究部 加藤・森内
〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目道庁別館 12F
Tel 011-221-7840 Fax 011-221-7845
E-mail rchdiv@hiecc.or.jp
 - (2) 申込書 ～国際理解促進セミナー参加申込書（兼ねる「イフタール体験食事会」
参加申込書）
 - (3) 申込期限 ～7 月 3 日（金）

参加申込書

『参加申し込み』: ハイエック調査研究部宛に Fax 若しくはメールでお申し込みください。

お申し込み先 FAX 011-221-7845 e-mail rchdiv@hiecc.or.jp
連絡先 ☎ 011-221-7840 (調査研究部 加藤、森内)

<u>どちらかに印を付けて下さい。</u> イフタール体験食事会に <input type="checkbox"/> 参加します。 <input type="checkbox"/> 参加しません。	
所 属	
氏 名	
住 所	